

未来へつなぐ価値
世界自然遺産保全の取組

ACTION.1 保護地域の指定

国は、世界遺産の価値がある豊かな自然を将来にわたって守っていくために、遺産地域となる森などを国立公園や森林生態系保護地域に指定しました。

国立公園は、日本を代表する自然の風景地であり、大規模な開発などが規制されます。

森林生態系保護地域は、自然環境の維持や野生動植物の保護などを目的として指定されます。



ACTION.2 外来種の対策



マングースは元々奄美大島にはいませんでしたが、ハブやクマネズミを減らすために持ち込まれました。しかし、期待していた効果は得られず、アマミノクロウサギなどの希少な生き物が標的となったため、2005年、環境省はマングースバスターズを結成しました。彼らが行う捕獲作業は大きな成果をあげています。

写真提供：環境省 奄美群島国立公園管理事務所

ペットとして飼われていたネコが捨てられるなどして野生化し、野生動物が襲われる被害が発生しています。そのため、奄美大島と徳之島では、野生化したネコを捕獲する取組を進めています。また、飼い猫を適切に飼育する内容の条例を定めたり、飼い主のいないネコを増やさないための取組も行ったりしています。



写真提供：環境省 奄美群島国立公園管理事務所

希少な生き物の保護の取組



希少な野生動物の交通事故を防ぐために、観察するときのルールを作ったり、希少な動物や植物が持ち出されないようにパトロールを行ったりしています。

エコツーリズムの推進



エコツーリズムとは、ガイドによる案内のもと、自然や自然と人との関わり、生活文化などとふれあう旅の形です。奄美群島では、認定エコツアーガイドによる安全安心で質の高い体験を提供しています。

自然環境に配慮した公共事業の推進



道路や橋、港などの公共事業は、人々の生活を支える上で必要な事業です。工事による奄美の自然への影響が最小限になるよう指針を作成し、その指針に基づいて公共事業を進めています。

Information

世界自然遺産 奄美トレイル



世界自然遺産
奄美トレイル
Amami World Heritage Trail

「世界自然遺産 奄美トレイル」は、九州と沖縄との間に連なる奄美群島の8つの有人島をつなぐ長距離の自然歩道です。世界自然遺産の奄美大島と徳之島、デイゴ並木が美しい加計呂麻島、珍しい昆虫や花が見られる請島、サンゴの石垣が残る与路島、世界有数のスピードで隆起しているサンゴ礁の島の喜界島、花と鍾乳洞の島の沖永良部島、白い砂浜とヨロンプルーの海が美しい与論島。個性あふれる8つの島で、奄美群島ならではの自然、そこで育まれた文化にふれ合うことができます。

全14エリア、51コース／総延長 約550km



世界自然遺産 奄美トレイルMAP

各エリアのマップを販売しています。マップの表面には、各コースの見どころやトレイルのルールなどを、裏面には各コースのルートが分かる地図を掲載しています。

販売場所については、鹿児島県ホームページで確認してください。



鹿児島県HP

奄美の島々を巡る
新しい出会い発見を探そう！



住用エリア
イシャゴ滝



喜界島エリア
阿伝集落（ゴマの天日干し）



与論島エリア
おおがねく 大金久海岸



沖永良部島エリア
たみなみさき 田皆岬